

奈良女子大学

古代学学術研究センター

第2回月例研究会

日時：2010年6月2日（水）16：30～

場所：理学部会議室（A棟1階）

内容：文化財の微生物汚染とその対策

鈴木 孝仁（理学部生物科学科教授）

高松塚やキトラ古墳の壁画がカビなどの微生物で損傷したことは記憶に新しく、微生物、特にカビの生態を考慮しないと、国民の財産である文化財に、汚染や劣化をもたらすことは明白である。

文化財を保全するためには、微生物の性質や生態を科学的に十分に考慮した対策が必要であることを、実例に基づいて紹介します。

ご自由にご参加下さい